

# 大阪府支部 初めての「祝卒業・新社会人歓迎会」



松川 広輝（平成 26 年 海洋応用生命科学専攻修了）

2016 年 4 月 16 日（土）、大阪の街の真ん中で寮歌が掛かりました。

「明治 20 年度寮歌あーッ！横山芳介君作歌、赤木顕介君作曲。都ぞ弥生ッ！

…アイン、ツヴァイ、ドライ！」

この日、北水同窓会大阪支部では、関西で新社会人となった水産学部出身者のために歓迎会が開催されました。

事前に田中支部長から、「歓迎会に人がなかなか集まらない…」と伺っていたのですが、北大会館（JR 大阪駅前にある！）に到着すると、えらく騒がしい様子です。「こんにちは一…。」と、恐る恐る中に入ってびっくり、会場は寿司詰め状態です。直前に参加者が増え、なんと、28 名もの方々が集まったのでした。



今回その中で歓迎を受けたのは 12 名。大阪支部での歓迎会は久しぶりということもあり、ここ数年間に関西で新社会人となった人は皆、盛大な歓迎を受けました。

かく言う私も歓迎していただきましたが、北水同窓会の集まりに参加したのは実は 3 回目だったりします…。他の 11 名の方は初めての北水同窓会大阪支部ということでしたが、周りの和やかな雰囲気のおかげで緊張することもなく、会が始まる前から楽しそうな様子でした。

そして、皆が集まったところで早速、歓迎会開宴！会が始まってからは和やかな面だけでなく、大阪支部の熱い面も垣間見えてきました。まず、最初に用意された飲み物が「サロベツ牛乳！」いきなり何とも北海道らしい歓迎です。その牛乳を片手に順々に自己紹介をしていくのですが、北水同窓会への想いが溢れる話が多々あり、ついには自己紹介に収まらず、大阪支部の歴史についての話もありました。



29年前、先代おしよろ丸の大阪寄港を歓迎するために集まったのが、実質的な大阪支部の始まりなのだそうです。（その頃の大阪支部は名ばかりの状態、あまり活発に活動していなかったそうです。）おしよろ丸の大阪寄港で大阪のOB・OGが徐々に集まったことが契機となり、それから現在に至るまで、月に一度の月例会など、様々な活動を続けられています。

しかし、近年は段々と若手が集まりにくくなっているとのこと。確かに一昨年、私が月例会に参加した際には20～30代は皆無、若い人が集まるというイメージではありませんでした。一方で昨年、おしよろ丸V世の大阪寄港を歓迎した際には20～30代の方もたくさん集まっており、世代交代の機運を感じました。おしよろ丸で始まった同窓会ならば、おしよろ丸で再出発ということでしょうか。ですから、田中支部長が自己紹介に絡めて、おしよろ丸からいただいた新・旧2枚の北水旗を出したとき、私には何か象徴的なものに見えました。何となく、「新しい北水旗を象徴に、新しい世代が中心となって大阪支部を支えないといけないなあ」などと考えていたのも、皆さんの北水同窓会に対する熱い想いに感化されてのことに違いありません。（笑）



自己紹介が終わり、歓談が始まると、大阪支部は熱い人々の集まりだと再度気づかされました。大阪支部のメンバーのパワーは伊達ではありません！「仕事何やってんのん？」「この論文読んでみい。」「なんでも相談しいや。」と誰ともなく会話の輪に参加しては、グイグイ話を引っ張ります。ワイワイと楽しく会話が進むこと、進むこと。話し通すうちに、あっという間に時間が過ぎていました。



歓迎会に参加して、北水同窓会の大きな働きは「人と人のつながり」を強めることなのだ改めて感じました。大阪支部には、仕事で普段からお世話になっている方もいれば、まるで知らなかった業種の方まで、様々な方面で活躍されている方々が集まっています。とは言え、ここに来れば皆、元北大水産学部で学んだ者同士。私をはじめとする関西で働く人間にとって、仕事の悩みから人生訓まで幅広いことを、壁を取っ払って、仲間として共有できる場でもあります。何か問題にぶつかったとき、(ぶつかっていない時も、) 多様な人と共に、広い見地から物事を見るいい機会になります。気軽に参加してみる価値があると私は思います。

もちろん今回も多くの先輩方と交流し、楽しみや悩みをいっぱい吐いて、聴いて、共有し合える場になったと思います。そして、歓迎会で親交を深めた後は、皆それぞれに夜の大阪の街に消えていきました… (笑)。



さて、冒頭の寮歌は歓迎会の終わりに大野氏が掛けてくださったものです。私の知る前口上「我等が三年を契る…」は、元々は別の寮歌の前口上だったものが、ある時期から「都ぞ弥生」でかかるとなると聞いております。ですから、大野氏のそれは、それ以前に歌い継がれた寮歌の形でしょう。そんな歴史を感じる大先輩方（失礼！）と出会えたのも何かの縁。引き継がれてきた北水同窓会という伝統の船を、私たちの世代が新しい風となって、更に前へと進めていきたいと改めて思っています。

末筆となりますが、新社会人歓迎会という場を設けていただいた、大阪支部の方々には大変感謝しております。本当にありがとうございました。

### 北水同窓会大阪支部 大歓迎会！！



金子哲郎（昭和 54 食品製造）

2016年4月16日（土）夕刻、毎月第3土曜日に開催される北水月例会の会場「北水会館」は、「クラーク先生」の教えを受けた仲間が“すし詰め状態”の中で始まった・・・。

ここ数年も含めて新社会人となられたみなさん、卒業おめでとう！

そして、縁あって“白河の関”を超え、社会人の第一歩を大阪でスタートを切られたことを北水同窓会大阪支部は大歓迎します！

田中支部長の“念力”のお陰か、予想を上回るフレッシュな仲間が集結し、小生も38年前の“すすきの”“狸小路”北18条“そして”大門“”五稜郭“・・・ここが北海道の地と錯覚するほどの盛り上がり様でした。

新社会人のみなさん！若さという特権を思う存分発揮してください！

**“Boys be ambitious!”**

大志を抱いて己の職務を全うし、自己実現してください。

私は昨年9月にめでたく37年間（一浪してます）お世話になった会社を定年退職しました。

退職1年前ごろから北水月例会に参加して、大御所 大野大先輩をはじめ、面倒見の良い入江事務局長（いつもメール案内ありがとうございます）等、荒波を超えてきた諸先輩のお話し（内容は参加してのお楽しみ）を伺い、いろいろ考えさせられました。

みなさんをご承知だと思いますが、私は“Boys be ambitious!”の後のフレーズがあるときに知り、あらためて北大の卒業生であることに目頭が熱くなったのを記憶しております。

**“Be ambitious not for money or selfish aggrandizement, not for that evanescent thing which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be”**

(敢えて日本語訳は北大 OB に失礼ですのでませんが、”金 “や” 利己心 “を求める大志ではない・・・。この年になると健康であり続けることが大切です)

北水同窓会はビジネスの利害関係の道具としか考えていない集まりではなく、親身になって相談に乗ってくれる先輩や仲間との憩いの場として、もっと早くから参加していればよかったと思います。

最後に、北水同窓会大阪府支部は毎月、第 3 土曜日、17 時から開催しております。順風満帆な時、窮地のどん底の時、なんとなく行ってみようかなと思った時、等々・・・勇気を出していくほど敷居は高くないので、軽い気持ちで立ち寄ってみてください。

“人生 一期一会” ですよ

歓迎会参加者名簿 28 名

大野正浩(S36 製)、上田 稔(S45 化)、入江和彦(S45 漁)、田中文夫(S50 食)、室井智子(S50 食)大村泰治(S51 食)、玉置 純(S51 漁)、金子哲郎(S54 食)、佐々木雅人(S56 化)、廣瀬 裕(S59 食)藤井英嘉(S61 漁)、川邊一郎(H3 増)、嶋本晶文(H4 化)、小田哲也(H4 漁)、内田英伸(H5 食)、藤原匠逸(H13 生)、櫻井遥平(H19 生)、山中智之(H19 生)、岡田初美(H20 生)、高塚 直(H21 生)桑田勝也(H21 生)、今井雅志(H22 資化)、松川広輝(H24 増生)、小西慶典(H24 資化)、高谷直己(H25 資化)、石野魁盛(H26 増生)、百田和幸(H26 海生)、浦杉朝子(H26 海生)